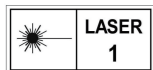


Dreame は、Dreame Technology Co., Ltd. およびその中国にある子会社の略称です。中国の企業名である「追觅」と同じ響きで、努力を惜しまず最良を追い求めることを意味し、絶えず技術を追及、探求、発見する企業のビジョンを表わしています。



サポートにつきましては、support.jp@dreame.tech までお問い合わせください。

公式サイト：https://www.dreame.tech/jp/

製造元：Dreame Trading (Tianjin) Co., Ltd.

中国製



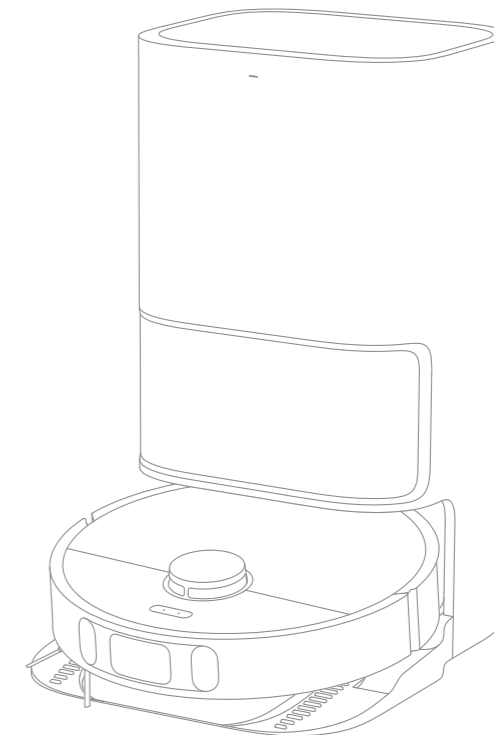
RLS6LADC-JP-S00

DreameBot L10s **Ultra**

自浄オートエンプティ機能付き

ロボット掃除機

取扱説明書



本取扱説明書のイラストは参考用です。実際の製品でご確認ください。

dreame

目次

安全情報	1
製品概要	5
家庭での準備	10
使用する前に	11
Dreamhome アプリに接続	13
使用方法	14
日常メンテナンス	17
よくある質問	23
基本仕様	26

安全情報

本製品の不適切な使用による感電、火災、またはケガを回避するために、本製品を使用する前に取扱説明書をよくお読みになり、大切に保管してください。

使用制限

- ・本製品は、8歳以上のお子様、身体的、感覚的、知的障がいのある方、または経験や知識が不足している方も使用できますが、安全に操作しリスクを回避するために、必ず保護者や後見人の監視の下で使用してください。お子様がクリーニングやメンテナンスを行う場合は、保護者の監視のもとで行ってください。
- ・本製品は、製品に付属している電源でのみ使用できます。
- ・本製品には、専門の技術者のみが交換できるバッテリーが搭載されています。
- ・掃除する場所を片づけてください。お子様を本製品で遊ばせないでください。ロボットの動作中はお子様やペットとの間に安全な距離を確保してください。
- ・本製品を浴室、またはプール付近で設置、充電、または使用しないでください。
- ・本製品の使用は、家庭の床掃除に限定されます。屋外、床以外、商用または工業環境でご使用にならないでください。
- ・本製品が適切な環境で正しく動作するようにしてください。そうでない場合は、製品を使用しないでください。
- ・電源コードが損傷している場合は、製造元またはそのサービス代理店から入手できる専用のコードまたは組み立て品と交換してください。
- ・床よりも高く吊り下げられている場所で、落下防護壁がない状況で使用しないでください。

安全情報

使用制限

- ・ロボットを逆さまに置かないでください。LDS センサー保護カバー、本体カバー、またはバンパーを持たないでください。
- ・40°C以上、0°C以下の温度下において、または液体や粘着性物質が付着している床でご使用にならないでください。
- ・引きずりによる損傷や損害を防ぐために、本製品を使用する前に床の上の吸い込まれそうなものを片づけて、掃除経路上のケーブルや電源コードを移動させてください。
- ・床にある壊れやすいものや小さいものを片づけて、ロボットが衝突して壊したりしないようにしてください。
- ・毛髪、指、および他の身体の各部を、ロボットの吸い込み口に近づけないでください。
- ・お子様の手が届く場所にクリーニングツールを置かないでください。
- ・幼児やお子様がいる部屋で本製品を使用しないでください。
- ・据え置き中または移動中にかかわらず、ロボットの上にお子様やペットを乗せたり、ものを置いたりしないでください。
- ・お子様の手が届く場所に洗剤を置かないでください。
- ・専用の洗剤のみを使用してください。アルコールや消毒剤などのいかなる液体も加えないでください。
- ・燃えているものの掃除にロボットを使用しないでください。引火性または可燃性の液体、腐食性ガス、または不希釈の酸や溶剤をロボットで吸い込まないでください。

安全情報

使用制限

- ・硬いものや尖ったものを吸い込ませないでください。石、大きい用紙、または製品を詰まらせる可能性があるものも吸い込ませないでください。
- ・製品の清掃またはメンテナンス前に、壁コンセントからプラグを抜いてください。
- ・ロボットまたはベースステーションを湿らせた布で拭いたり、液体ですすいだりしないでください。洗える部品を洗浄した後は、十分に乾かしてから元通りに取り付けて使用してください。
- ・取扱説明書の指示に従い本製品をご使用ください。本製品の誤った使い方により生じた損失や損害については、お客様ご自身でご負担いただきます。
- ・電源ケーブル類が同梱されている場合、それらは本製品専用です。他の機器へは絶対に接続しないでください。

バッテリーと充電

- ・サードパーティーのバッテリーまたはベースステーションを使用しないでください。ロボットは、モデル RCS9 ベースステーションでのみ使用することができます。
- ・お客様ご自身でバッテリーやベースステーションを分解、修理、または改造しようとししないでください。
- ・ベースステーションを熱源の近くに置かないでください。
- ・ベースステーションの充電端子を湿らせた布や濡れた手で拭いたり掃除したりしないでください。
- ・古いバッテリーを不適切に廃棄しないでください。不要なバッテリーは、適切なりサイクル施設で廃棄する必要があります。

安全情報

バッテリーと充電

- ・電源コードが損傷または断線した場合は、直ちに使用を中止し、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・ロボットを持ち運ぶ際は、必ず電源を切り、可能であれば元の包装材に入れて運んでください。
- ・ロボットを長期間使用しない場合は、フル充電後に電源を切り、涼しく乾燥した場所で保管してください。バッテリーが過放電しないように、少なくとも3カ月に一度充電してください。
- ・リチウムイオンバッテリーパックには、環境に有害な物質が含まれています。掃除機を廃棄する場合は、以下の手順でバッテリーパックを取り外して、使用する国や地域の法令に従って廃棄・リサイクルしてください。
- ・製品からバッテリーを取り外すときは、バッテリーを使い切ってから製品が電源から切り離されていることを確認することをお勧めします。

手順①底面のねじを取り外した後、カバーを外します。

手順②バッテリーコネクターのプラグを抜いた後、バッテリーを取り外します。けがのリスクを回避するために、バッテリーケースを損傷しないでください。

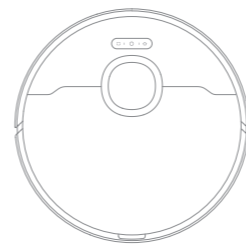
手順③バッテリーを専門のリサイクル施設に戻します。

レーザー安全情報

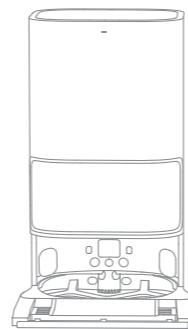
- ・LDS センサーは、IEC 60825-1：2014 のクラス1 レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射を発生しません。

製品概要

梱包内容



ロボット

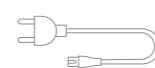


ベースステーション

他の付属品



サイドブラシ



電源コード



クリーニングブラシ



ダストパック
(交換用部品)



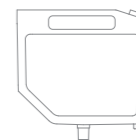
ベースステーション
スロープ拡張プレート



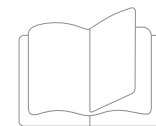
モップパッド x2
(装着済み)



モップパッドホルダー x2



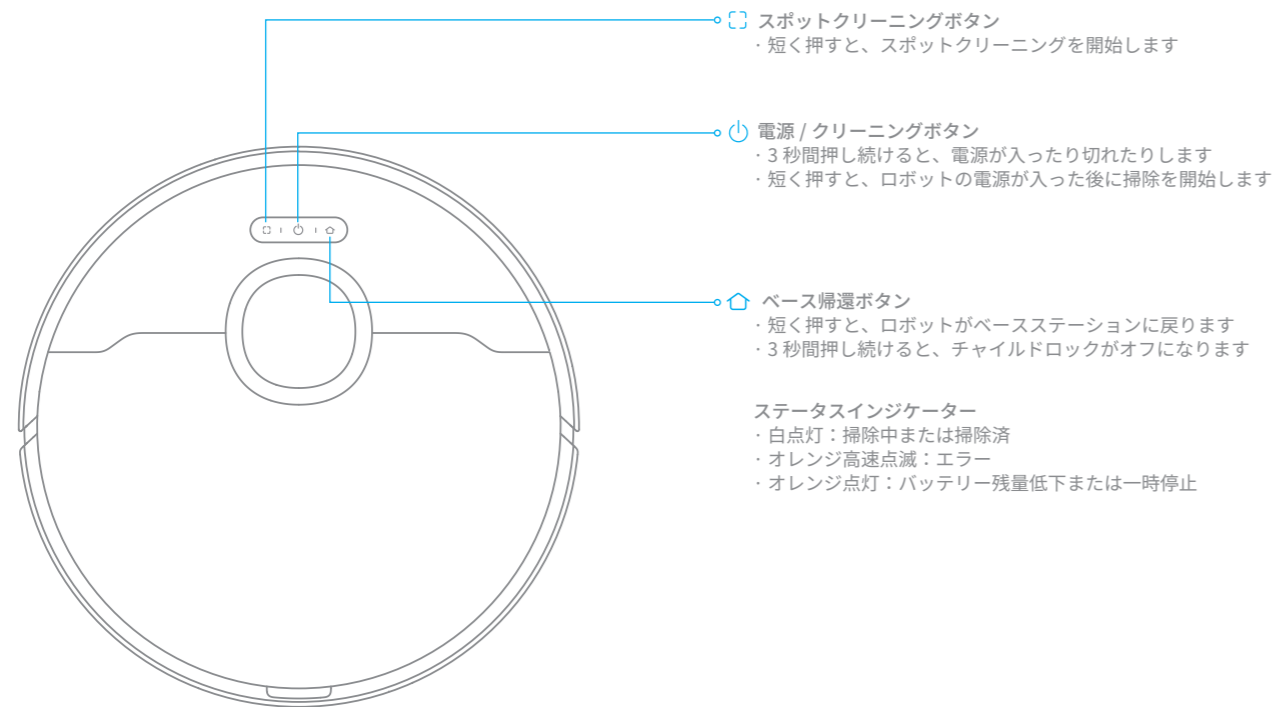
専用床洗剤



取扱説明書

製品概要

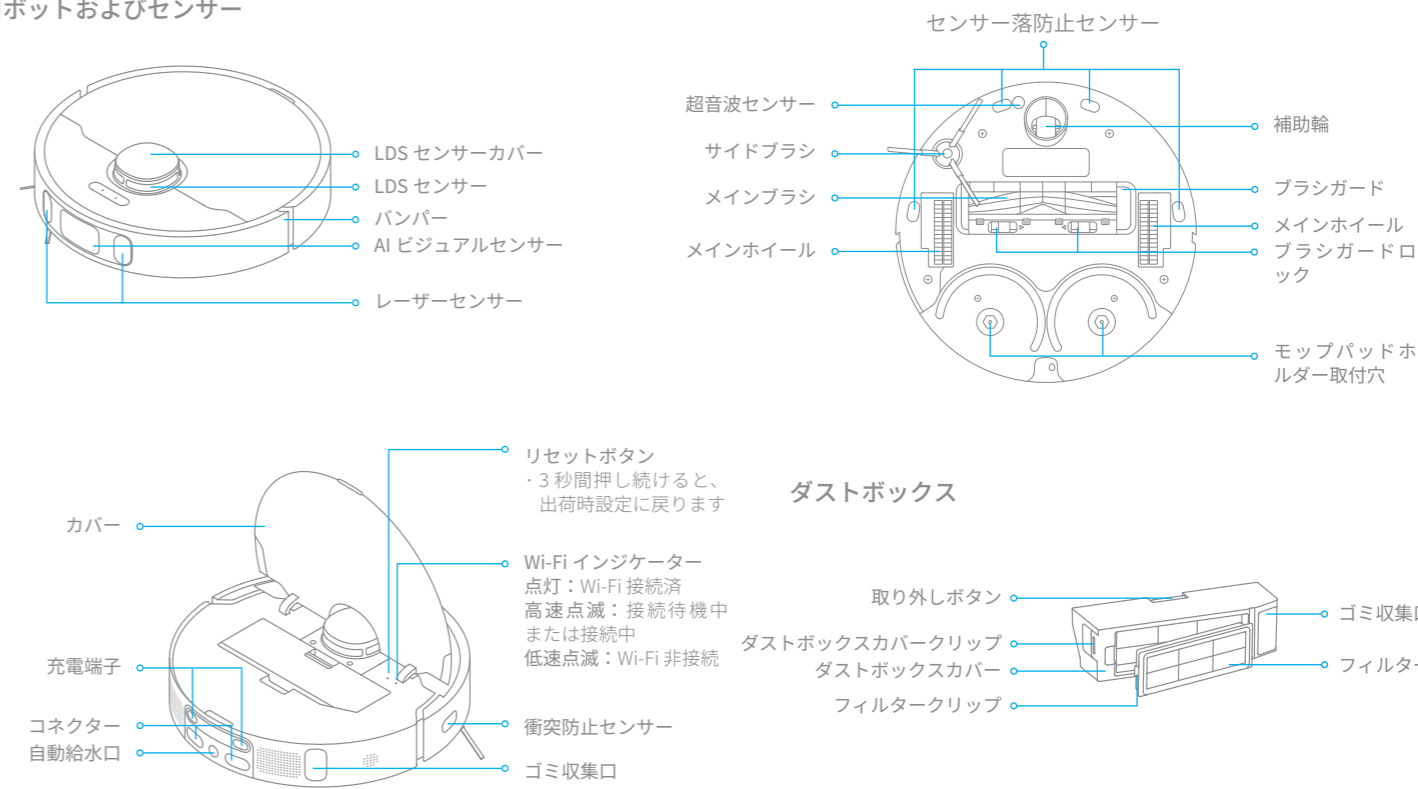
ロボット



注意：ロボットが掃除中または充電のために戻ってきているときに任意のボタンを押すと一時停止になります。

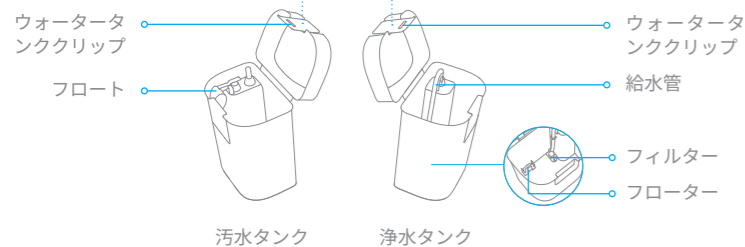
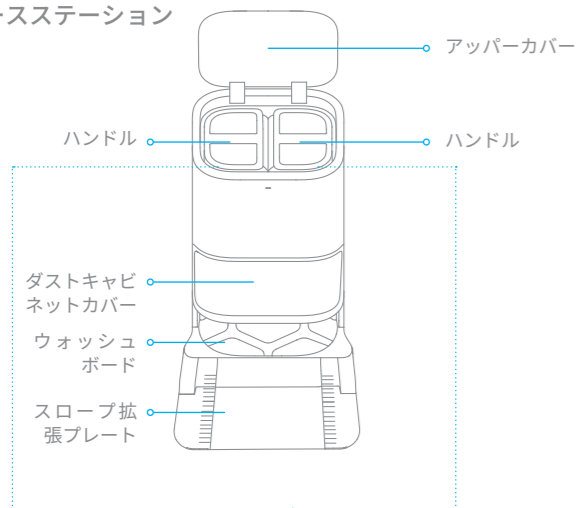
製品概要

ロボットおよびセンサー



製品概要

ベースステーション



ベースステーションボタン

リリースボタン 短く押すと、ロボットがベースステーションを出発します

ロボットがベースの外にある場合、ベースステーションの ボタンを3秒間押し続けると、ベースを掃除するための水が出ます。その後、ボタンを再度3秒間押しすと、汚水が排出されます。

クリーニングボタン 短く押すと、ロボットがすべての領域を掃除します

ドライボタン 短く押すと、ベースステーションがモップパッドの乾燥を開始または停止します

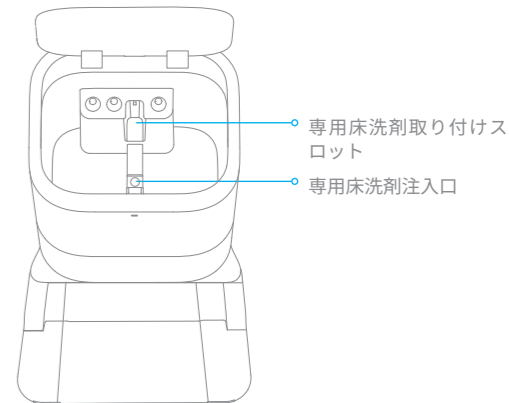
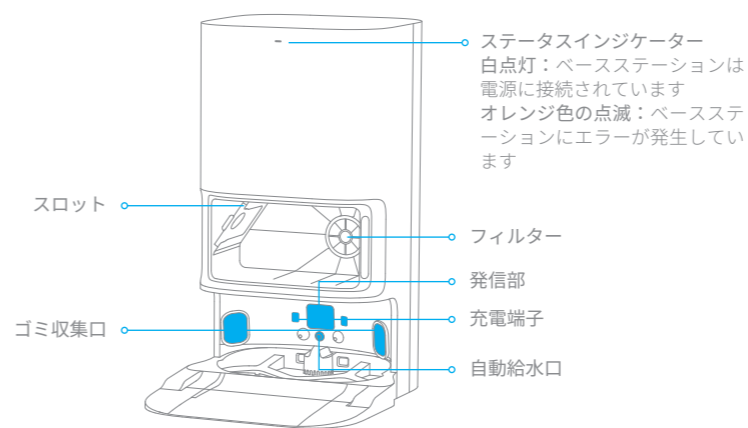
注意：ベースステーション上のボタンは、ロボットがベースステーションに置かれているときのみ作動します。

チャイルドロック

と のボタンを3秒間押し続けると、チャイルドロックがオンまたはオフになります。チャイルドロックを作動させると、ロボットとベースステーションのすべてのボタンはロックされます。

製品概要

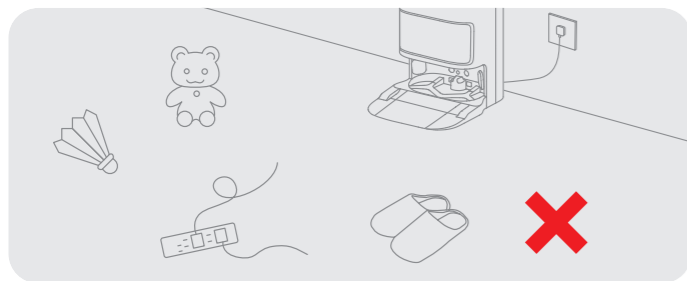
ベースステーション



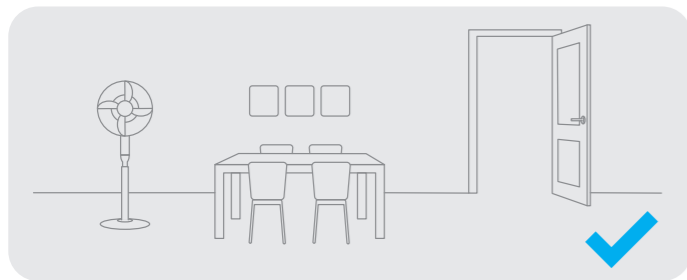
モップ



家庭での準備



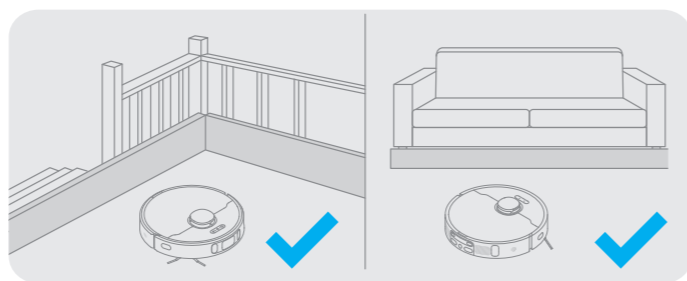
ロボットの効率を高めるために、電源コード、衣類、スリッパ、おもちゃなどのものをきれいに片づけてください。



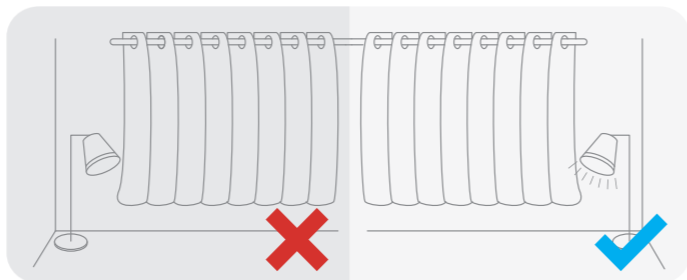
掃除する部屋のドアを開け、家具を適切な場所に置いてより広いスペースを空けてください。

注意：

- ・ロボットを初めて操作する場合は、掃除中にロボットについていき、障害になりうるものを直に取り除いてください。
- ・ロボットが掃除する必要のある場所を認識できるように、ロボットの前方、敷居、廊下、または狭い場所に立たないでください。



清掃前に、ロボットが安全でスムーズに動作するように階段およびソファの端に防護壁を配置してください。



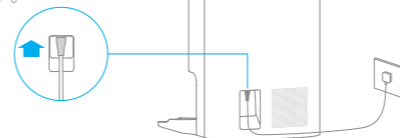
AI ビジュアルセンサーにより、ロボットは電源コード、靴、靴下などの障害物を十分に認識して回避することができますが、AI ビジュアルセンサーを最大限に利用するために、掃除するすべての領域が十分に明るいことを確認してください。

使用する前に

1. 電源コンセントに接続します

電源コードをベースステーションに差し込み、プラグをコンセントに接続してください。

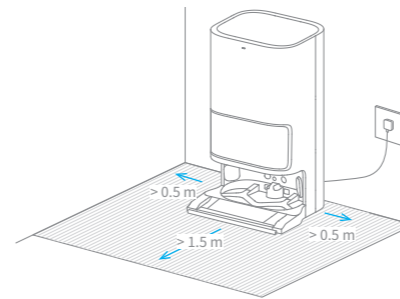
電源コードを、インジケータが点灯するまで上方にしっかり差し込んでください。



2. ベースステーションを置きます

ベースステーションの前から 1.5m 以内、上部から 1m 以内、左右から 0.5m 以内にあるものを取り除いてください。

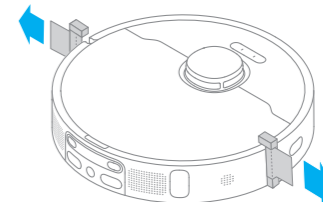
Wi-Fi 信号がきちんと届く、できる限り広い場所にベースステーションを置きます。



注意：

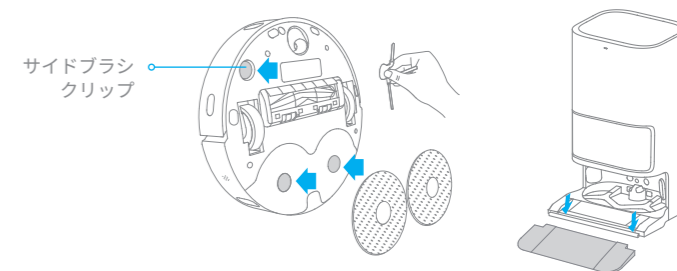
- ・信号部をふさぐ可能性のある物がないことを確認してください。
- ・フローリングの床やカーペットに水染みができることを防ぐため、ベースステーションをタイル張りの床または大理石の床に置くことをお勧めします。

3. 保護材を外します



4. 付属品の取付


- ① サイドブラシとモップを正しい位置に取り付けてください。
- ② ベースステーションにスロープ拡張プレートを上から取り付けてください。

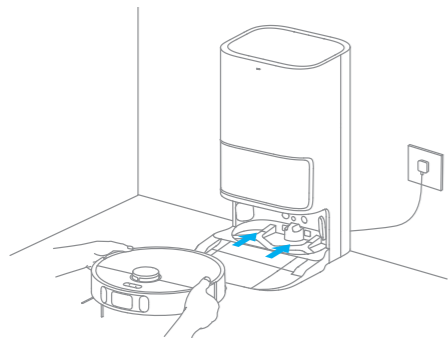


注意：サイドブラシは、所定の位置にぴったりと収まるように取り付けてください。

使用する前に

5. ロボットを置きます

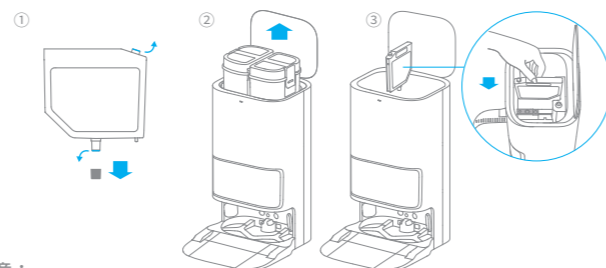
ロボットの  ボタンを3秒間押し続けて電源を入れます。モップがウォッシュボードの方を向くように、ロボットをベースステーションに置きます。その後、ロボットがベースステーションと正常に接続して充電を開始すると音声通知が聞こえます。ロボットがフル充電されると、ロボットとベースステーションのステータスインジケータが10分間点灯し続けた後に薄暗くなります。



注意：初めて使用される前に、ロボットをフル充電することをお勧めします。バッテリーが切れた後にロボットの電源を入れることができない場合は、手でロボットをステーションに接続して充電してください。

6. 洗剤ボトルを取り付けます

洗剤ボトルのキャップを外し、ボトルの上下のシールをはがします。ベースステーションのアップパーカバーを開けて、浄水タンクと汚水タンクを取り出します。洗剤ボトルをスロットに沿って所定の位置に取り付けます。クリーナは、動作中に自動的に追加されます。

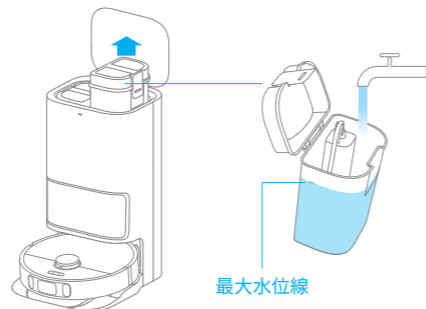


注意：

- ・最初の使用前に専用床洗剤注入口の軟質ゴム栓を取り外してください。
- ・ベースステーションの誤作動が起きないようにするために、正式に承認された洗剤以外の液体を入れないでください。

7. 浄水タンクに水を入れます

浄水タンクに浄水を最大水位マークまで注いだ後、浄水タンクと汚水タンクを所定の位置に取り付けます。



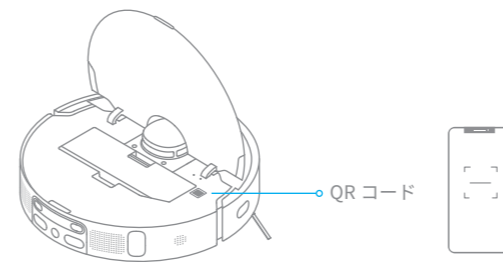
注意：ウォータータンクに温水を加えないでください。タンクが変形することがあります。

Dreamehome アプリとの連携

本製品は Dreamehome アプリと連携し、アプリを通じて本製品を操作できます。

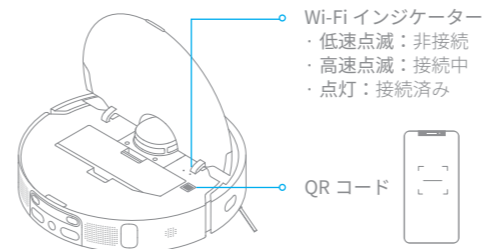
1. Dreamehome アプリをダウンロードする

ロボット掃除機の QR コードを読み取るか、アプリストアで「Dreamehome」と検索してアプリをダウンロードし、インストールしてください。



2. デバイスを追加する



Dreamehome アプリを開き、右上の「」をタップしてから、同じ QR コードを再度スキャンして「DreameBot L10s Ultra」を追加します。



ご注意：

- ・2.4GHz 周波数帯のWi-Fi にのみ対応しています。
- ・アプリのアップデートにより、実際の動作が取扱説明書の記述と異なる場合があります。現在のアプリのバージョンに基づいた説明に従ってください。

3. Wi-Fi をリセットする

「Wi-Fi 設定の完了を待機中です」という音声聞こえるまで、 と  のボタンを同時に押し続けます。Wi-Fi インジケータがゆっくり点滅したら、Wi-Fi のリセットに成功しています。

ご注意：ロボット掃除機がアプリに正常に接続できない場合、Wi-Fi をリセットして再度デバイスを追加してください。

使用方法

高速マッピング

ネットワークを初めて設定した後、アプリの指示に従って素早くマップを作ると、ロボットは掃除せずにマッピングを開始します。マッピングプロセスはロボットがステーションに戻ると終了し、マップは自動的に保存されます。

電源オン / オフ

🔌 ボタンを 3 秒間押し続けてロボットの電源を入れます。電源表示灯が点灯します。ロボットをベースに置くと、ロボットは自動的に電源が入り充電を開始します。ロボットの電源を切るには、ロボットをベースから離して、🔌 ボタンを 3 秒間押し続けてください。

一時停止 / スリープ

ロボットが動作しているときに任意のボタンを押すと一時停止になります。ロボットの一時停止状態が 10 分以上続くと、自動的にスリープモードになります。電源表示灯と充電インジケータは消灯します。ロボットまたはベースの任意のボタンを押すかアプリを使用すると、ロボットは起動します。

注意：

- ・スリープモードの状態が12時間以上続くと、ロボットは自動的に電源が切れます。
- ・ロボットを一時停止してベースステーションに置くと、実行中の掃除工程は終了します。

おやすみモード

ロボットを おやすみモードに設定すると、ロボットは掃除を再開できなくなり、電源表示灯は消灯します。おやすみモードは、出荷時設定では無効にされています。アプリを使用すると、おやすみモードを有効にしたり、おやすみモード 期間を変更したりできます。おやすみモード 期間は 22:00 ~ 8:00 に初期設定されています。

注意：

- ・おやすみモード 期間中は、予定された清掃作業が時間通りに実行されます。
- ・ロボットはおやすみモード 期間終了後に、中断した場所から掃除を再開します。

スポット掃除

ロボットの待機中に 🔄 ボタンを短く押すと、スポット掃除モードが使用可能になります。スペースをトルこのモードでは、ロボットは周囲 1.5 メートル四方を掃除し、スポット掃除が終了するとロボットは開始位置に戻ります。

ロボットの再起動

ロボットが反応しなくなったり、電源が切れなくなったりした場合は、🔌 ボタンを 10 秒間押し続けると強制的に電源が切れます。その後、🔌 ボタンを 3 秒間押し続けるとロボットの電源が入ります。

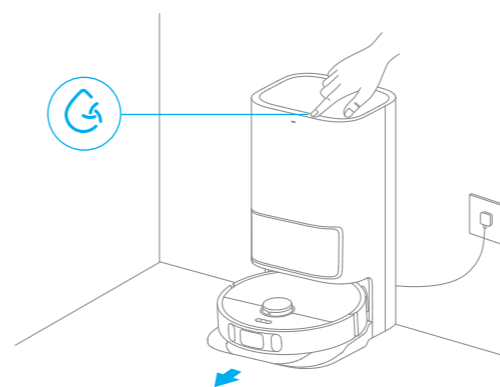
使用方法

掃き掃除とモップがけ

注意：モップを初めて使用する場合、ロボットは掃き掃除とモップがけを実行するように初期設定されています。

1. 掃き掃除とモップがけを開始します

ベースステーションの 🔄 ボタンやロボットの 🔌 を押すか、アプリを使用トルして、ロボットをベースステーションから出発させます。その後、ロボットは最適な掃除経路を計画し、作成されたマップに基づき掃除作業を実行します。

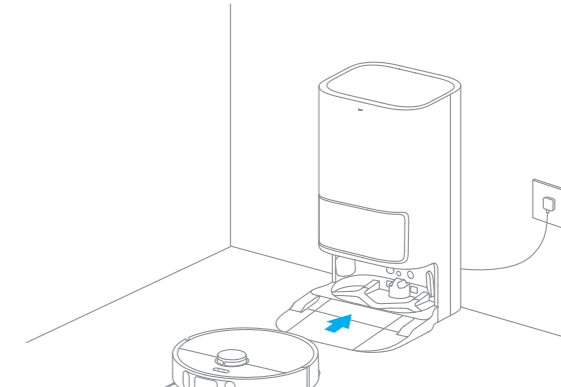


注意：

- ・ロボットがモップがけを開始する前にモップパッドが清掃されるので、しばらくお待ちください。
- ・この動作中に、ベースステーション、浄水タンク、汚水タンク、またはウォッシュボードを動かさないでください。

2. 途中でモップパッドを清掃するために戻ります

モップがけ中、ロボットは自動的にベースステーションへ戻り、アプリで指定されたモップパッドの清掃頻度に基づきモップパッドを洗浄します。続いて、ベースステーションは自動的にロボットのウォータータンクに補水し、補水後にロボットは掃除を再開します。

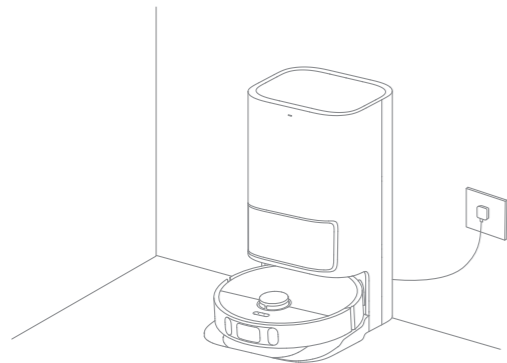


注意：ロボットが途中でベースステーションに戻りモップパッドを清掃する場合、ベースステーションは自動的にダストボックスを空にします。

使用方法

3. ダストボックスが空になった後にモップパッドを洗浄して乾燥させます

ロボットが清掃作業を終了して充電のためにベースステーションに戻ると、ベースステーションは自動的にダストボックスを空にし、その後モップパッドを清掃して乾燥させます。



注意：

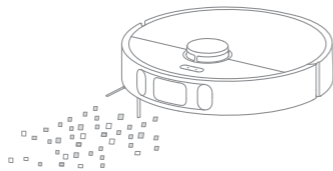
- ・ロボットがモップパッドを清掃するために途中でベースステーションに戻っても、ベースステーションは自動的にダストボックスを空にしません。
- ・アプリで自動ゴミ収集機能が無効にされている場合、ベースステーションは自動的にダストボックスを空にしません。
- ・ベースステーションは、アプリで設定された頻度に従ってダストボックスを空にします。

4. 汚水タンクのクリーニング



ロボットが作業を終了したら、臭気を防止するために汚水タンクを清掃してください。

掃き掃除

掃き掃除機能のみを使用するには、アプリで「吸引」を選択するか、ロボットからモップを取り外すと、ロボットは自動的に掃き掃除モードに切り替わります。



注意：ロボットからモップが取り外されていない場合は、アプリで掃き掃除モードを選択でき、ロボットは掃き掃除前に自動的にモップを持ち上げます。

ベースステーションが電源に接続されてロボットがベースステーションに接続されていることを確認してください。ベースステーションの  ボタンやロボットの  ボタンを押すか、アプリを使用すると、ロボットはベースステーションからすべての領域を掃除します。

注意：ロボットが掃除後にベースステーションへ容易に戻れるように、ロボットをベースステーションから出発させた後は掃除中にベースステーションを動かさないようにすることをお勧めします。

日常メンテナンス

部品

ロボットを良好な状態に保つために、日常メンテナンスについて以下の表を参照することをお勧めします。

部品	メンテナンス頻度	交換時期
汚水タンク	毎回使用後	/
浄水タンク	2週間に一度	6～12カ月ごと
メインブラシ		3～6カ月ごと
ダストタンクフィルター		
サイドブラシ	1カ月に一度	/
ウォッシュボード		
ベースステーションの発信部		
ベースステーションの充電端子		
ベースステーションのゴミ収集口		
補助輪		
衝突防止センサー		
LDSセンサー		
レーザーセンサー		

部品	メンテナンス頻度	交換時期
AI ビジュアルセンサー	1カ月に一度	/
超音波センサー		
転落防止センサー		
ロボットの充電端子		
バンパー		
ロボットのゴミ収集口		
ロボットの自動給水口	洗剤（ボトル）を取り外した後に清掃することをお勧めします	
ロボットの底面		
専用床洗剤注入口		
ダストボックス	必要に応じて清掃します	6～8週間
ダストパック	/	
モップパッド	/	

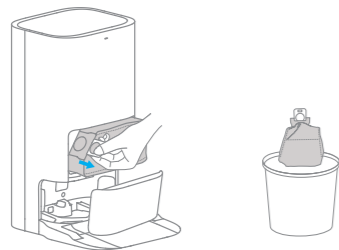
注意：交換頻度は、ロボットの使用方法によって異なります。特殊な事情のために異常が発生した場合は、部品を交換する必要があります。

日常メンテナンス

ダストパック

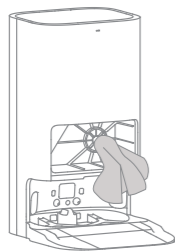
ダストパックを交換する必要がある場合は、アプリに通知が表示されます。

1. ダストパックを廃棄します。

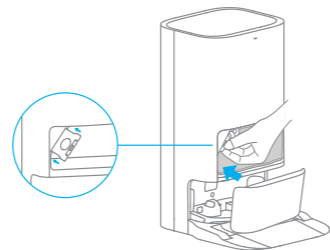


注意：ハンドルを上引っ張ると、ほこりやごみを誤って落下させないようにパックが密封されます。

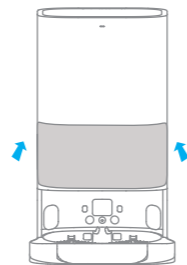
2. 乾いた布でフィルターからごみやほこりを除去します。



3. 新しいダストパックを取り付けます。



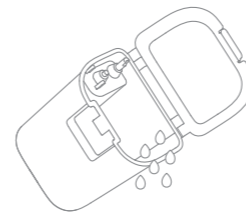
4. ダストキャビネットのカバーを閉じます。



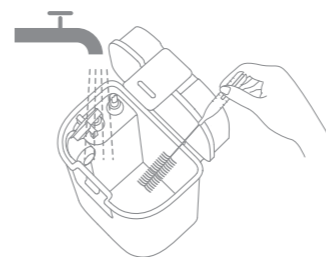
日常メンテナンス

汚水タンク

1. 汚水タンクを取り外し、トルカバーを開けて汚れた水を流します。



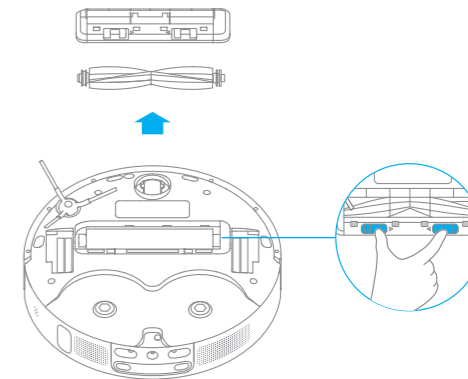
2. 汚水タンクを浄水で洗い流し、付属のクリーニングブラシで汚水タンクの内壁を清掃します。



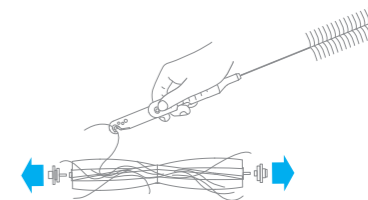
注意：汚水タンク内のフロートは可動部品です。損傷ないように清掃時に過剰な力をかけないでください。

メインブラシ

1. ブラシガードロックを内向きに押し、ブラシガードを取り外し、ブラシをロボットから持ち上げて取り出します。



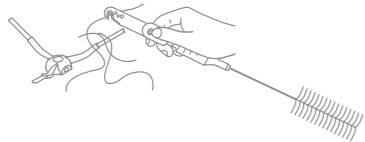
2. 図に示すようにブラシカバーを引き出します。ブラシに毛髪が絡んだときは、適切なツールで取り除いてください。



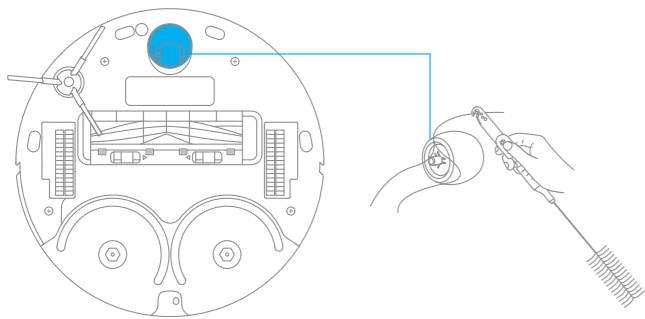
日常メンテナンス

サイドブラシ

サイドブラシを取り外して清掃します。



補助輪

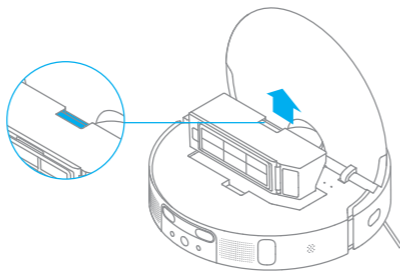


注意：

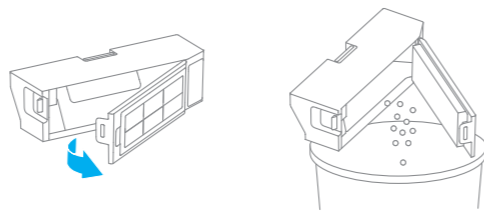
- ・小型のねじ回しなどの工具を使用して、補助輪の軸とタイヤを分解します。過剰な力をかけないでください。
- ・補助輪を流水ですすいだ後、十分に乾かしてから元に戻してください。

ダストボックス

1. 本体カバーを開け、取り外しボタンを押して、ダストボックスを取り外します。



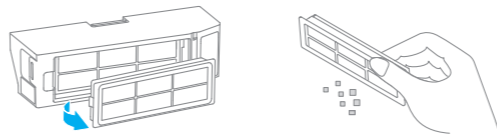
2. 図に示すように、カバーを開けてボックスを空にします。



日常メンテナンス

フィルター

1. フィルターを取り外し、そのバスケットを軽くたたきます。



注意：損傷を防ぐために、ブラシ、指、または尖ったものでフィルターを掃除しないでください。

2. ダストボックスとフィルターを水で洗い流し、十分に乾かしてから元通り取り付けます。



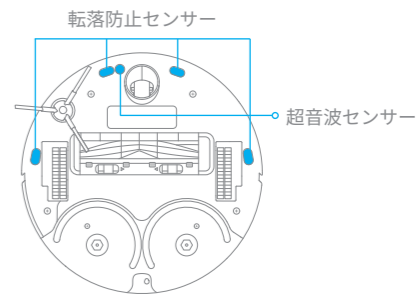
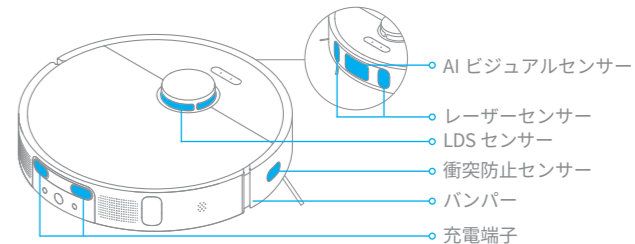
注意：

- ・ダストボックスとフィルターの洗浄は浄水のみで行ってください。洗剤など一切使わないでください。
- ・ダストボックスとフィルターは、十分に乾かしてから使用してください。

ロボットのセンサーと充電端子

ロボットの以下のセンサーと充電端子を柔らかい乾いた布で拭いてください。

- ・ロボット底面の転落防止センサーと超音波センサー
- ・ロボット背面の充電端子
- ・ロボット側面の衝突防止センサー
- ・ロボット上部のLDSセンサー
- ・ロボット前面のLDSセンサー、AI ビジュアルセンサー、およびレーザーセンサー

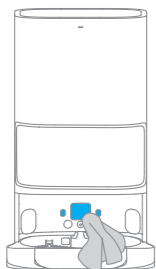


注意：湿った布は、ロボットとベースステーション内の精密部品を損傷させるおそれがあります。清掃には乾いた布を使用してください。

日常メンテナンス

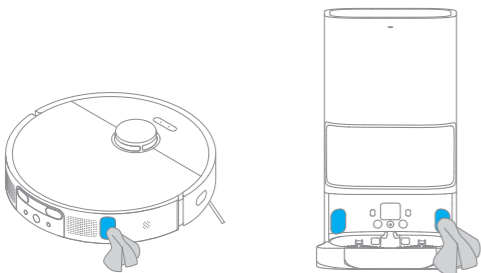
充電端子

ベースステーションの充電端子と発信部を柔らかい乾いた布で清掃します。



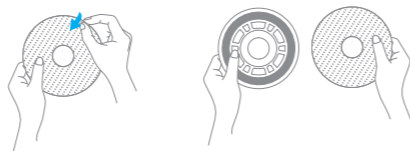
ゴミ収集口

ロボットとベースステーションのゴミ収集口を柔らかい乾いた布で清掃します。



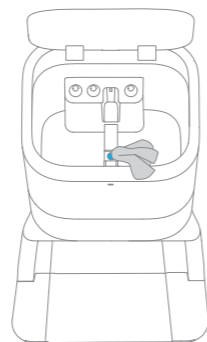
モップパッド

モップパッドホルダーからモップパッドを取り外し、交換します。



専用床洗剤注入口

専用床洗剤注入口が汚れている場合は、柔らかい乾いた布で拭き取ります。



バッテリー

ロボットには、高性能リチウムイオンバッテリーパックが内蔵されています。バッテリーの最適性能を維持するために、常時使用することでロボットを充電状態に保ってください。ロボットを長期間使用しない場合は、電源を切って保管してください。過放電によるバッテリーの損傷を防ぐために、ロボットを少なくとも3カ月に1回充電してください。

よくある質問

問題	解決策
ロボットの電源が入らない。	バッテリー残量が不足しています。ロボットをベースで充電してから再度試してください。バッテリーの温度が低すぎるか、または高すぎます。製品を 0°C ~ 40°C の温度で使用することをお勧めします。
ロボットが充電されない。	ベースステーションが電源と接続されていません。電源コードの両端が正しく差し込まれていることを確認してください。ベースステーションの充電端子とロボットの接続不良です。充電端子を清掃してください。ロボットのコネクタに異物があるか確認し、異物がある場合は取り除いてください。
ロボットが Wi-Fi と接続していない。	Wi-Fi ネットワークのパスワードが正しくありません。Wi-Fi ネットワークに接続するために使用されるパスワードが正しいことを確認してください。ロボットは、5 GHz Wi-Fi 接続に対応していません。ロボットが 2.4 GHz Wi-Fi 接続に接続されていることを確認してください。Wi-Fi 信号が弱いです。ロボットが 2.4 GHz Wi-Fi 受信感度が良好な範囲内の場所にあることを確認してください。ロボットが、設定される準備ができていない可能性があります。アプリを終了して再起動後に、指示されるとおりに再度試してください。
ロボットがベースステーションを見つけれず戻れない。	ベースステーションが電源から切り離されているか、ロボットが置かれていないときに動かされています。ベースステーションの周辺にある障害物が多すぎます。ベースステーションを障害物のない場所に置いてください。ロボットを動かすと、ロボットは自身を再配置し、再配置が失敗した場合はマップを再度作成します。ロボットがベースステーションから離れすぎている場合は自動的に戻れないことがあります。その場合は手でロボットをベースステーションに戻してください。ベースステーションの発信部を拭き、ほこりやごみを取り除いてください。
ロボットがベースステーションの前で動けなくなり戻れない。	ベースステーションの左側と右側の 0.5 m 以内、前の 1.5 m 以内にある障害物を片づけて、ロボットが妨げられないようにしてください。充電器まで戻る経路が、ドアが閉まっている等で妨げられています。ベースステーションの前の床が過度に濡れている場合はロボットがずぶることがあります。その場合は、過剰な水を取り除いた後に再試行してください。ベースステーションを別の場所に移動させて再試行することをお勧めします。

よくある質問

問題	解決策
ロボットの電源が切れない。	ロボットは、充電中に電源を切ることはできません。ロボットをベースステーションから動かすことをお勧めします。その後、電源ボタンを3秒間押し続けると電源が切れます。ロボットが手順1により電源を切ることができない場合は、ボタンを10秒間押し続けると、ロボットは強制的に電源が切れます。それでも問題が解消されない場合は、お客様サポートセンターにご連絡ください。
充電速度が遅い削除。	バッテリー残量が少なくなるときにロボットをフル充電するには約6時間かかります。指定範囲外の温度下でロボットを操作すると、バッテリーの寿命が伸びるように充電速度は自動的に遅くなります。ロボットとベースの両方の充電端子が汚れている可能性があります。乾いた布で拭いてください。
ロボット動作時にノイズが大きくなる。	ダストタンクフィルターが詰まっていないか確認してください。その場合は、清掃または交換してください。メインブラシまたはダストボックスに硬いものが引っ掛かっている可能性があります。硬いものを確認して取り除いてください。メインブラシまたはサイドブラシが絡まっている可能性があります。異物を確認して取り除いてください。吸込みモードを標準または静音に切り替えてください。
ロボットが、設定された経路に従わずに動く。	ロボットを使用する前に、電源コードやスリッパなどのものを整理する必要があります。濡れたすべりやすい面上で動作すると、メインホイールがすべります。ロボットを使用する前に濡れている場所を乾かすことをお勧めします。ロボットのレーザーセンサーとAIビジュアルセンサーを、清潔な柔らかい布で拭いてきれいにし、遮るものがないようにしてください。
ロボットが、掃除する部屋を見落とす削除。	掃除する部屋のドアが開いていることを確認してください。部屋のドアに2cmより高い敷居があるか確認してください。ロボットは、高い敷居や階段を乗り越えることができません。掃除する部屋の前の場所が濡れていてすべりやすいと、ロボットがすべって異常動作します。ロボットを使用する前に床を乾かすことをお勧めします。

よくある質問

問題	解決策
ロボットが充電後に掃除を再開しない。	ロボットがおやすみモードに設定されていないことを確認してください。このモードでは、掃除の再開が実行されません。ロボットを充電のためにベースステーションに手動で戻した後、ロボットは掃除を再開しません。手動でロボットをベースステーションに置いたり、アプリやロボット自身により充電するようになりたりしても同様になります。
ベースステーションのボタンを押している間、ロボットが反応しない。	ロボットが、ベースステーションの無線範囲外にある可能性があります。ロボットを手動でベースステーションに戻すか、アプリで戻してください。
ステーションが、自動的にダストタンクを空にできない。	ダストキャビネット内のダストパックが満杯であるか確認してください。ダストパックが満杯でない場合は、ロボットのゴミ収集口、ベースステーション、またはダストボックスに障害物があるか確認してください。ある場合は、妨げられている部分を直ちに片づけてください。
ウォッシュボードの水位がおかしい。	汚水タンクのシールが緩んでいたり正しく取り付けられていなかったりしていないか確認し、その場合は手動で所定の状態に戻してください。汚水タンクをゆっくり押し下げて、正しく取り付けられていることを確認してください。ウォッシュボードを取り外して、排水管が詰まっているか確認し、清掃してください。洗剤を確認してください。専用の洗剤以外の液体を入れしないでください。それでも問題が解消されない場合は、お客様サポートセンターまでご連絡ください。

その他の詳細につきましては、support.jp@dreame.tech にご連絡ください。

公式サイト：<https://www.dreametech.jp/>

基本仕様

ロボット

型番	RLS6LADC
充電時間	約6時間
定格電圧	14.4 V ===
定格電力	75 W
動作周波数	2400 ~ 2483.5 MHz
最大出力	20 dBm 未満

ベースステーション

型番	RCS9
定格入力	100-110V~50-60Hz
定格出力	20 V === 2 A
電力（ゴミ収集）	1000 W
電力（掃除中）	55 W
電力（乾燥中および充電中）	72 W